



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月30日

上場会社名 株式会社テクノスジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3666 URL <http://www.tecnos.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉岡 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 希与志 (TEL) 03-3374-1212
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	3,088	17.2	370	8.7	404	17.4	277	85.9
30年3月期第2四半期	2,635	△12.1	340	5.1	344	5.6	149	△30.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 351百万円(135.1%) 30年3月期第2四半期 150百万円(△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第2四半期	14	06	14	05
30年3月期第2四半期	7	54	7	53

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,451		3,166			70.9
30年3月期	4,189		3,225			76.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 3,154百万円 30年3月期 3,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
30年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
	—	0.00	—	19.00	19.00	
31年3月期	—	0.00				
31年3月期(予想)			—			

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,405	18.1	805	8.4	869	11.2	560	33.6	28	44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) Lirik, Inc. 、除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	20,400,000株	30年3月期	20,400,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	680,200株	30年3月期	681,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	19,718,964株	30年3月期2Q	19,767,944株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いた一方で、資源価格の上昇や人手不足の深刻化、朝鮮半島情勢の緊迫化、米中間の貿易摩擦など懸念点も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業収支の改善を背景に主力事業であるERP市場をはじめ、ビッグデータ・IoT・AI等の利用拡大や、セキュリティ対応等を中心に、IT投資も堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループはERP・ビッグデータ・グローバルの三本を軸に、新規顧客への積極的な営業活動を図るとともに既存顧客の深耕による受注拡大に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,088,736千円（前年同期比17.2%増）、営業利益370,019千円（同8.7%増）、経常利益404,632千円（同17.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益277,153千円（同85.9%増）となりました。

業務区分別の業績については次のとおりであります。

a 基幹システム及び周辺ソリューション

製造業、商社・小売業向けのERPシステム導入支援業務を中心に、売上高は3,069,333千円（前年同期比18.1%増）となりました。

b その他

ツール・ライセンスの販売等により、売上高は19,402千円（前年同期比48.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ261,993千円増加し4,451,255千円となりました。

(流動資産)

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,642千円減少し2,913,908千円となりました。これは主に売掛金が228,353千円、仕掛品が157,552千円、前払費用が27,872千円、その他の流動資産（前渡金、未収消費税等）が43,561千円増加し、現金及び預金が360,811千円、有価証券が100,000千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ266,636千円増加し1,537,346千円となりました。これは主にのれんが295,972千円、投資有価証券が96,127千円増加し、関係会社株式が64,255千円、繰延税金資産が68,231千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ321,811千円増加し1,285,130千円となりました。

(流動負債)

流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ315,822千円増加し1,240,360千円となりました。これは主に買掛金が115,962千円、短期借入金400,000千円増加し、賞与引当金が121,232千円、未払消費税等が58,775千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ5,989千円増加し44,769千円となりました。これは主に繰延税金負債が5,291千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ59,817千円減少し3,166,124千円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が67,082千円、為替換算調整勘定が7,759千円、非支配株主持分が4,235千円増加し、利益剰余金が138,895千円減少したこと等によるものであります。

④キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額41,002千円を含めた結果、401,814千円減少し1,124,281千円（前連結会計年度1,485,093千円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、558,598千円減少し△188,740千円（前年同四半期連結累計期間369,857千円）となりました。これは主に賞与引当金の減少、売上債権の増加、たな卸資産の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、427,789千円減少し△241,936千円（前年同四半期連結累計期間185,852千円）となりました。これは主に有価証券の償還による収入の減少、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出の増加等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、647,438千円増加し26,227千円（前年同四半期連結累計期間△621,210千円）となりました。これは主に短期借入金の増加、自己株式の取得による支出の減少、非支配株主からの払込みによる収入の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年7月31日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,485,093	1,124,281
売掛金	1,243,631	1,471,985
有価証券	100,000	—
仕掛品	22,082	179,634
貯蔵品	1,272	685
前払費用	36,589	64,461
その他	29,881	73,442
貸倒引当金	—	△583
流動資産合計	2,918,551	2,913,908
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	104,819	105,924
減価償却累計額	△50,077	△54,554
建物附属設備(純額)	54,741	51,369
工具、器具及び備品	58,950	68,127
減価償却累計額	△46,950	△50,933
工具、器具及び備品(純額)	11,999	17,193
有形固定資産合計	66,741	68,563
無形固定資産		
ソフトウェア	49,873	44,328
のれん	—	295,972
その他	36	36
無形固定資産合計	49,910	340,337
投資その他の資産		
投資有価証券	443,715	539,842
関係会社株式	368,660	304,405
長期前払費用	37,207	40,688
繰延税金資産	72,118	3,887
敷金及び保証金	149,921	151,170
保険積立金	64,314	70,304
その他	18,121	18,147
投資その他の資産合計	1,154,059	1,128,446
固定資産合計	1,270,710	1,537,346
資産合計	4,189,261	4,451,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	348,120	464,082
短期借入金	—	400,000
未払金	58,076	55,768
未払費用	62,160	81,984
未払法人税等	151,987	103,841
未払消費税等	64,048	5,272
品質保証引当金	9,788	14,092
受注損失引当金	5,647	5,636
賞与引当金	147,457	26,224
その他	77,251	83,456
流動負債合計	924,538	1,240,360
固定負債		
繰延税金負債	—	5,291
資産除去債務	38,780	39,478
固定負債合計	38,780	44,769
負債合計	963,319	1,285,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,520	562,520
資本剰余金	206,350	206,412
利益剰余金	3,014,459	2,875,563
自己株式	△580,692	△579,839
株主資本合計	3,202,637	3,064,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,444	82,526
為替換算調整勘定	—	7,759
その他の包括利益累計額合計	15,444	90,286
新株予約権	7,860	6,946
非支配株主持分	—	4,235
純資産合計	3,225,942	3,166,124
負債純資産合計	4,189,261	4,451,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,635,501	3,088,736
売上原価	1,707,839	2,322,652
売上総利益	927,662	766,083
販売費及び一般管理費	587,255	396,064
営業利益	340,406	370,019
営業外収益		
受取利息	20	7
有価証券利息	1,519	645
受取配当金	—	2,520
持分法による投資利益	—	27,833
助成金収入	—	3,759
その他	4,058	876
営業外収益合計	5,598	35,641
営業外費用		
支払利息	—	603
為替差損	—	425
支払手数料	1,404	—
営業外費用合計	1,404	1,028
経常利益	344,600	404,632
特別利益		
持分変動利益	10,148	—
保険解約返戻金	11,019	—
特別利益合計	21,167	—
特別損失		
持分変動損失	2,425	—
投資有価証券評価損	98,843	—
特別損失合計	101,268	—
税金等調整前四半期純利益	264,499	404,632
法人税、住民税及び事業税	94,742	83,534
法人税等調整額	19,557	43,944
法人税等合計	114,300	127,478
四半期純利益	150,199	277,153
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,107	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,092	277,153

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	150,199	277,153
その他有価証券評価差額金	—	67,082
為替換算調整勘定	—	7,759
その他の包括利益合計	—	74,841
四半期包括利益	150,199	351,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,092	351,994
非支配株主に係る四半期包括利益	1,107	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	264,499	404,632
減価償却費	18,672	18,855
品質保証引当金の増減額(△は減少)	△24,758	4,304
受注損失引当金の増減額(△は減少)	4,507	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,957	△121,232
投資有価証券評価損益(△は益)	98,843	—
受取利息及び受取配当金	△1,539	△3,172
支払利息	—	603
支払手数料	1,404	—
持分変動損益(△は益)	△7,723	—
持分法による投資損益(△は益)	—	△27,833
雑収入	△162	△304
売上債権の増減額(△は増加)	209,982	△117,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,222	△156,993
仕入債務の増減額(△は減少)	△104,031	91,295
未払金の増減額(△は減少)	20,133	△8,118
その他の資産の増減額(△は増加)	8,894	△61,225
その他の負債の増減額(△は減少)	11,349	△56,542
小計	513,806	△32,822
利息及び配当金の受取額	2,017	5,011
利息の支払額	—	△603
法人税等の支払額	△145,966	△135,932
役員退職慰労金の支払額	—	△24,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	369,857	△188,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	200,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△612	△5,378
無形固定資産の取得による支出	△3,662	△4,720
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△324,597
敷金及び保証金の差入による支出	△287	△1,249
敷金及び保証金の回収による収入	434	—
保険積立金の積立による支出	△5,943	△5,990
ゴルフ会員権の取得による支出	△4,076	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	185,852	△241,936

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	400,000
自己株式の取得による支出	△331,445	—
配当金の支払額	△377,148	△373,773
非支配株主への配当金の支払額	△8,675	—
非支配株主からの払込みによる収入	178,500	—
子会社の自己株式の取得による支出	△52,500	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	57	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△621,210	26,227
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	2,635
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△65,500	△401,814
現金及び現金同等物の期首残高	1,715,284	1,485,093
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△481,160	41,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,168,623	1,124,281

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であったTecnos Global Company of America, Inc.について、重要性が増したことに伴い、連結の範囲に含めております。

また、株式取得によりLirik, Inc. を子会社化したことに伴い、同社及び同社の子会社のLirik Infotech Private Limitedを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。